

令和8年度「情報Ⅰ」シラバス

科 目 名		必修・選択	単位数	類型
情報Ⅰ		必修	2	共通
教科書 副教材等	高校情報Ⅰ新訂版（実教出版） 高校情報Ⅰ新訂版 学習ノート（実教出版）			

1 学習目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。

2 学習概要

- ・「情報Ⅰ」は単に情報機器を活用するだけでなく、自らの課題を見つけて、それを解決していく問題解決能力を身に付けるとともに情報リテラシーを学んでいきます。これらは、将来どのような業種・職種に就くにしても身につけておくべき大切なスキルになります。生徒一人ひとりのペースを大事にしながら、一緒に学んでいきます。
- ・課題や実習は、積極的な姿勢を持って取り組んでいきましょう。
- ・座学では、情報社会で必要となる基礎的な知識の学習をします。
- ・実習では、座学と相互に関連を取り、将来必要となる文書ソフト、表計算ソフト、を中心に使い方について学んでいきます。また、Pythonによるプログラミング、シミュレーション実習も行います。

3 学習方法

- ・座学では、情報社会に出て必要な情報の基礎知識に関することを中心に学習するため、話をよく聞き授業内で理解をするよう努め、積極的な姿勢をもって授業に取り組んでいきましょう。また、日頃から新聞を見る習慣をつけ、普段から情報に関する記事に興味・関心を持ち、自分なりの考えや意見を持てるよう心掛けていこう。
- ・ネット犯罪の実態を学び、授業の疑似体験を通して実際に起こった事例を紹介します。被害者、加害者にならないためにも、インターネットの脅威から身を守るための基本を学びましょう。
- ・実習では、課題や課題作品をしっかりと完成させなくてはなりません。それには、説明をよく聞き、わからないことは恥ずかしがらず積極的に質問して聞いていきましょう。また、欠席をするとその後の実習に支障をきたすことになります。できる限り欠席しないようにしましょう。
- ・コンピュータ室等で授業する場合は、50分フルに使えるよう休み時間のうちに速やかに移動しよう。
- ・毎回の授業ではChromebookを忘れないようにしてください。

4 評価について

（1）評価方法

「知識・技能（①）」、「思考・判断・表現（②）」、「主体的に学習に取り組む態度（③）」の3観点で評価を行います。

具体的に評価方法以下の通りです。

- ・定期考査（期末考査）……………①、②
- ・時間内小テスト……………①
- ・授業に対する姿勢や態度……………②、③
- ・実習における発表内容……………②、③
- ・実習の提出状況・内容・発表方法……………①、②
- ・授業の振り返りフォーム……………③

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします

(2) 評価規準

	知識・技能 (①)	思考・判断・表現 (②)	主体的に学習に取り組む態度 (③)
評価規準	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

5 学習計画

学期	単 元 名	学習のねらい (内容のまとまりごと)	考査等
一 学 期	6 章 データの活用 35 データの種類と扱い 36 データの収集と整理 37 データの分析 (統計量・可視化) ・ 散布図と相関 ・ 回帰分析 2 章 コミュニケーションと情報デザイン 11 アナログとデジタル 12 情報のデジタル化 (音・画像・動画) 13 データの圧縮 第 3 章 コンピュータのしくみ 14 ハードウェアとソフトウェア 15 2 進数の計算 16 論理回路と論理演算 17 コンピュータの構成と動作 18 コンピュータの性能 【実習】 文章処理の基礎・応用 表計算ソフトの活用法	データを可視化する方法と相関の概念と相関係数の意味を理解し、表計算ソフトを用いて、散布図を描き相関係数からデータを読み取ることができるようにする。また、データの傾向に関して評価するために、客観的な指標を基に判断する力、自身の考えを基にした適切な解釈を行う力を身に付ける。 アナログデータを情報技術で活用するために、音声や画像、動画のデジタルデータへの変換に関する技術やデータ容量の計算を通して、デジタルデータの活用の理解を深める。またデータ圧縮の技術に触れ、情報化社会に必要な情報スキルを伸ばしていく。 コンピュータの動作原理を理解するために、2 進数による表現方法や論理回路の役割を通して、ハードウェアとソフトウェアの役割を理解できるようにする。	期末テスト 作品提出
二	第 4 章 プログラミングとシミュレーション 19 アルゴリズムとプログラミング 20 プログラミングの基本 (制御構造) 21 関数 22 探索のアルゴリズム 23 整列のアルゴリズム	アルゴリズムをフローチャート等で表現する方法を理解できるようにする。またアルゴリズムを比較し、その特徴や効率の違いを考え判断することができるようにする。	

学 期	24 モデル化とシミュレーション 25 確定的モデル 26 確率的モデル 第 5 章 ネットワークと情報システム 27 ネットワークとプロトコル 28 インターネットのしくみ 29 Web ページの閲覧と電子メールの送受信 【実習】 Python プログラミング シミュレーション	モデルの意味や種類を理解するとともに、状態をモデル化して表現する方法を身に付けられるようにする。 「ネットワークの活用」では、ネットワークの基礎を学び、小規模ネットワークのシステムを読み解くことができるスキルを身に付ける。	期末テスト 作品提出
三 学 期	30 ネットワークセキュリティ 31 安全のための情報技術 32 情報システム 33 情報システムを支えるサービスや技術 34 データベース 第 2 章 コミュニケーションと情報デザイン 08 コミュニケーションとメディア 09 情報デザイン 10 Web サイトの設計 第 1 章 情報社会と問題解決 01 情報とメディア 04～06 知的財産権・個人情報・法規 【実習】 Web ページの作成	情報セキュリティの理解を深め、安全に情報技術を活用するための基本的な心構えや技術を身に付ける。 データベースの基礎を学び、現代社会におけるデータ分析の必要性和重要性について理解する。 「情報デザイン」では、デジタルデータとは何かを理解する。デジタルデータをコンピュータ内部で取り扱う方法を文字・音・画像・動画のデジタル化、Web デザインの実習を通して学ぶ。 「情報社会」では、情報・メディアとは何かを理解し、問題解決をするための一連の流れを学習する。また、著作権産業財産権に触れ、情報化社会における個人情報の重要性を理解し、情報セキュリティを意識できるように情報モラルを伸ばしていく。	学年末テスト 作品提出